

ウクライナ経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Ukraine)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先: ダーベル暁子 akiko.darvell@uk.mufg.jp)

概況	生産
<p>ウクライナ経済は混迷が深まっている。第 3 四半期の実質 GDP 成長率は前年比▲1.3%となり、5 四半期連続で前年水準を下回った。足元では、国内政治の混迷が景気低迷に追い打ちをかけている。11 月末、ウクライナは EU との自由貿易等を含めた「連合協定」への調印を見送った。この背景には、ロシアがウクライナをロシア主導の関税同盟に引き込むため、ウクライナ向けガス価格の引き下げや融資等の支援をちらつかせつつ、ウクライナ製品の禁輸措置を実施するなど圧力をかけたことがあるとされる。このため、特に親 EU 派が多いとされるウクライナ西部を中心に、政府への不満が噴出し、首都キエフでヤヌコビッチ大統領の退陣を求める大規模なデモが発生している。大統領は野党側との対話や EU との協調に向けた取組みを継続させていく姿勢を示す一方、ロシアとの経済協調路線も否定しておらず、デモに対しては治安部隊による強制排除に踏み切るなど、緊張は高まっている。</p> <p>一方、政府の資金繰り問題も大きな懸念となっている。外需低迷による経常赤字拡大や外貨準備高の減少を受け、11 月には、格付機関の S&P とフィッチが相次いでウクライナの信用格付けを B から B- に引き下げた（ムーディーズは、9 月に B- から Caa1 に格下げ）。加えて、デモの発生後、国債の利回りは上昇し、CDS スプレッド（5 年債）も 11 月終盤以降、1000bps を超える状況が続いている。グリブナへの下落圧力も強まっており、外貨準備の減少に拍車がかかっている。グリブナは 1 ドル=8.14 グリブナ前後で事実上ペッグされており、5 月以降の米 FRB による金融緩和縮小観測の高まり等を受けた下落圧力に対し為替レートを維持するため、再三の介入が実施されてきた。足元の政局不安でグリブナへの下落圧力が更に強まっていることを鑑みると、通貨切り下げの可能性もありえよう。国債市場における資金調達が困難ななか、融資獲得が急務となっているが、EU との協調を進めれば、最大の貿易相手国であるロシアからの経済的制裁が予想される。一方で、ロシア寄りの態度を強めれば、国内の反対運動は助長され、景気に更なるダメージとなろう。IMF からの融資獲得についても、通貨切り下げとガス料金の引き上げという厳しい条件を付けられており、ウクライナ政府は厳しい選択を迫られている。</p>	<p>9 月の鉱工業生産は前年比▲4.9%と、低迷が続いている。部門別で見ると、製造業は同▲9.8%となった。主要輸出品目である鉄鋼関連が同▲8.0%と減少基調にあることや、薬品・肥料（同▲18.9%）、食料品・飲料・タバコ関連（同▲12.5%）における大幅な生産減が影響した。</p>
<p>GDP</p>	<p>消費、物価</p>
<p>第 3 四半期の実質 GDP 成長率は前年比▲1.3%(速報値)と、5 四半期連続のマイナス成長となった。内訳を見ると、個人消費が同+6.7%と底堅い伸びを維持した一方、総固定資本形成は、減少幅は縮小したものの同▲7.1%と低迷が続いた。輸出については、引き続き欧州等からの需要が弱いことに加え、8 月中旬にロシアがウクライナ製品の禁輸措置を一時的に採ったことから同▲7.8%となり、純輸出の寄与度は同▲2.3%ポイントとマイナスに転じた。</p>	<p>小売売上は鈍化傾向にあり、10 月は前年比+1.2%となった。消費者信頼感を見ると、景気低迷の継続で 9 月は約 1 年半ぶりの水準まで低下した。10 月には若干持ち直したが、足元の政局不安で消費者マインドが下振れする可能性は高い。また、通貨切り下げが実施された場合には、輸入インフレの発生や外貨建ローン返済額の増加等が家計を圧迫しよう。</p> <p>11 月の消費者物価指数は前年比+0.2%と 4 か月ぶりにプラスに転じたが、インフレ圧力は弱い状況が続いている。ただし、今後 IMF の融資条件を受け入れた場合には、政府の補助金により低く抑えられているガス価格の引き上げや、グリブナ切り下げによる輸入品価格上昇等から、インフレ率は押し上げられよう。</p>
<p>実質 GDP と需要項目別寄与度 (前年比、%)</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>金融政策</p>
	<p>ウクライナ中央銀行は、8 月の利下げ以降、政策金利を 6.5%に据え置いている。一方、経常赤字の拡大やグリブナ買い支えのための介入等を受けて外貨準備高は急減し、11 月末には年初から 23.4%減の 187.9 億ドルまで減少した。中銀は外貨流動性確保のため、昨年 11 月、輸出業者に対し、外貨建収入の 50%をグリブナに強制転換させる制度を導入、今年 5 月には対象を月額 15 万グリブナ以上の外貨収入がある企業、個人事業主、個人に拡大した。更に先月には、外貨建収入の多寡にかかわらず、全ての企業と個人事業主の外貨建収入の半分をグリブナへ強制転換することとした。</p>
<p>外貨準備高 (10億ドル)</p> <p>(資料)Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>国際収支</p>
<p>経常収支 (10億ドル)</p> <p>(資料)Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>第 3 四半期の経常赤字は 50.5 億ドルと、前年の 39.4 億ドルから拡大し、1998 年以降での最悪水準となった。輸入が前期の大幅減からの反動で減少幅が縮小（第 2 四半期：前年比▲18.4%→第 3 四半期：同▲1.3%）した一方、輸出は 8 月のロシアによる一時的な輸入禁止措置などの影響もあって減少傾向が続く、貿易赤字が 63.9 億ドルまで拡大したことが影響した。</p>

ウクライナ経済・金融概況

1. 年、四半期

	2010	2011	2012	12/Q3	12/Q4	13/Q1	13/Q2	13/Q3
名目GDP実額 (10億米ドル)	136.2	163.0	174.3	47.8	46.5	37.2	43.2	48.2
実質GDP成長率 (y/y, %)	4.2	5.1	0.4	▲ 1.3	▲ 2.5	▲ 1.1	▲ 1.3	▲ 1.3
(民間消費支出) (y/y, %)	6.9	15.5	11.9	14.0	6.9	4.5	7.4	6.7
(総固定資本形成) (y/y, %)	2.8	5.9	3.5	▲ 6.9	▲ 7.5	4.0	▲ 19.7	▲ 7.1
鉱工業生産 (y/y, %)	10.8	7.0	▲ 2.2	▲ 4.2	▲ 5.2	▲ 4.8	▲ 5.7	▲ 5.1
小売売上 (y/y, %)	6.5	13.1	12.9	11.5	11.7	10.9	6.2	4.4
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	1.3	9.4	1.7	1.1	1.7	3.4	4.4	6.6
消費者物価上昇率 (y/y, %)	9.4	8.0	0.6	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.3
平均貸金上昇率 (y/y, %)	17.7	17.5	14.9	13.5	12.6	9.6	8.8	7.6
失業率* (%)	1.6	1.8	1.7	1.5	1.6	2.0	1.8	1.6
貿易収支* (百万米ドル)	▲ 9,309	▲ 14,197	▲ 15,848	▲ 4,259	▲ 4,374	▲ 1,987	▲ 2,234	▲ 5,488
輸出額 (百万米ドル)	51,431	68,410	68,810	17,121	18,011	15,911	14,831	15,552
輸出伸び率 (y/y, %)	29.5	33.0	0.6	0.1	▲ 2.4	▲ 1.6	▲ 15.3	▲ 9.2
輸入額 (百万米ドル)	60,740	82,607	84,658	21,379	22,385	17,898	17,065	21,040
輸入伸び率 (y/y, %)	33.7	36.0	2.5	1.1	▲ 3.1	▲ 6.2	▲ 21.8	▲ 1.6
経常収支 (百万米ドル)	▲ 3,018	▲ 10,245	▲ 14,315	▲ 3,936	▲ 4,765	▲ 2,918	▲ 2,253	▲ 5,047
資本収支 (百万米ドル)	9,937	6,804	5,346	3,024	▲ 44	4,000	922	-
対内直接投資 (百万米ドル)	6,495	7,207	7,833	2,004	1,965	887	527	-
外貨準備高 (百万米ドル)	34,576	31,795	24,546	29,255	24,546	24,729	23,245	21,640
対外債務残高 (百万米ドル)	117,346	126,236	135,065	132,447	135,065	136,276	134,368	-
政策金利(ディスカウント金利)	7.75	7.75	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	6.50
短期金利(Interbank three month ask)	7.22	9.92	19.82	14.22	22.68	25.52	13.37	9.56
UAH/USD	7.95	7.99	8.08	8.11	8.14	8.12	8.14	8.15
UAH/Euro	10.52	11.11	10.38	10.13	10.56	10.71	10.63	10.79
UAH/GBP	12.28	12.80	12.81	12.80	13.08	12.59	12.50	12.63

2. 月次

	13/04	5	6	7	8	9	10	11
鉱工業生産 (y/y, %)	▲ 2.2	▲ 9.3	▲ 5.7	▲ 4.9	▲ 5.4	▲ 4.9	-	-
小売売上 (y/y, %)	9.7	5.3	3.7	3.9	6.7	2.5	1.2	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	3.4	3.9	4.4	5.3	5.8	6.6	6.9	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.1	0.0	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.1	0.2
平均貸金上昇率 (y/y, %)	9.9	7.9	8.7	8.8	7.5	6.4	5.6	-
失業率* (%)	1.9	1.8	1.7	1.6	1.6	1.5	1.4	-
貿易収支* (百万米ドル)	▲ 618	172	▲ 1,787	▲ 1,592	▲ 1,584	▲ 2,312	-	-
輸出額 (百万米ドル)	6,064	5,218	3,549	5,184	5,201	5,167	-	-
輸出伸び率 (y/y, %)	4.7	▲ 16.4	▲ 35.2	▲ 9.9	▲ 10.9	▲ 6.6	-	-
輸入額 (百万米ドル)	6,683	5,046	5,337	6,776	6,785	7,479	-	-
輸入伸び率 (y/y, %)	▲ 8.0	▲ 33.4	▲ 23.5	▲ 5.8	▲ 6.8	8.3	-	-
政策金利(ディスカウント金利)	7.50	7.50	7.50	7.00	6.50	6.50	6.50	6.50
短期金利(Interbank three month ask)	24.37	25.37	26.37	27.37	28.37	29.37	30.37	31.37
UAH/USD	8.14	8.13	8.15	8.15	8.13	8.17	8.19	8.21
UAH/Euro	10.60	10.56	10.75	10.66	10.82	10.91	11.17	11.07
UAH/GBP	12.46	12.43	12.62	12.36	12.60	12.96	13.17	13.21

(注) 失業率は登録失業者率、貿易の値は通関ベース。網掛けは速報値。UAH: Ukraine Hryvnia (グリブナ)

(資料) ウクライナ中央銀行、ウクライナ統計局他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身で判断下さいませ。宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。